事務事業評価結果総括表

令和元年度事務事業評価については、目標を達成するために解決すべき課題をより明確にし、具体的に改善に繋げることができるよう、評価項目を『妥当性』『有効性』『効率性』の３つに分けて実施しました。その結果、いずれかの項目で**「改善・見直し」の評価となった事業は55事業あり、評価対象事業数全体の22.9%**になりました。「改善・見直し」の評価となった事業については、それぞれの評価項目に応じて改善に向けた取り組みを進めています。

1　評価対象　　令和元年度に実施した事務事業

2　評価方法　　①１次評価　令和２年７月の時点で担当課において実施
　　②２次評価　行政改革推進本部会議において実施

3　評価の基準　『妥当性』・・・今後も継続して行政が実施することが妥当であるか
　※事業の廃止を検討する必要があるものは「改善・見直し」
『有効性』・・・内容や手段は目的（意図・成果）達成のために有効か
　※廃止には至らないが、手段等を改善する必要があるものは「改善・見直し」
『効率性』・・・効率的なコスト投入が実施できているか
　※廃止には至らないが、コスト面の見直しを要するものは「改善・見直し」

	評価対象事業数	事業の『妥当性』		事業の『有効性』		事業の『効率性』	
		適切	改善・見直し（廃止を検討）	適切	改善・見直し	適切	改善・見直し
企画部	17	15	2	17	0	16	1
総務部	22	22	0	19	3	21	1
市民環境部	23	23	0	16	7	21	2
健康福祉部	60	53	7	54	6	56	4
経済部	31	30	1	28	3	30	1
都市建設部	20	20	0	17	3	20	0
鬼石総合支所	6	4	2	5	1	6	0
上下水道部	4	3	1	3	1	4	0
会計課	1	1	0	1	0	1	0
議会事務局	1	1	0	1	0	1	0
農業委員会事務局	3	3	0	2	1	3	0
監査委員事務局	3	3	0	3	0	3	0
教育委員会	48	46	2	42	6	43	5
介護老人保健施設	1	1	0	1	0	0	1
計	240	225 (93.7%)	15 (6.3%)	209 (87.1%)	31 (12.9%)	225 (93.7%)	15 (6.3%)